

弘 前

弘前大学は15日、同大で学生に対する米の無料配布を始めた。提供しているのは、同大付属金木農場(五所川原市)の水田で

今年栽培・収穫した新米で、米価の高騰や物価高を受けた支援策。学生からは「生活が厳しい中、助かる」との声が聞かれた。
(菊谷賢)

新米で物価高乗り切って



弘大、学生に付属農場産を無料配布

「生活厳しい中助かる」

弘大は本年度、同農場 全体の収穫量約14トの 配布するのは初めてで、
の計366㍓で、県産米 うち約10トを無料配布用 大学の基金を活用した。
「つがるロマン」や富山 として2㍓入りの袋で5千 個を用意。学生約290 パスの学生会館で、福田
県が開発した「てんたか 0人が事前に配布を希望 眞作学長や職員らが、学
く」を栽培。収穫には学 生1人につき1袋ずつ米

を手渡した。
配布開始とともに会場
に駆けつけた教育学部2
年の渋谷麻由さんは「米
の値段が上がって、生活
が厳しくなる中で、この
ような支援はとても助か
る。早速、今晚炊いて食
べたい」と明るい表情で
語った。福田学長は取材
に「金木農場の協力を受
けて、このような支援を
できたのは良かった。学
生には、新米を味わって
ほしい」と述べた。

▲
【写真上】福田学長から米を受け取る弘大生(手前左)=弘前大文京町キャンパス
【同下】金木農場で米の収穫作業を行う弘前大学の学生(手前)=9月(同大提供)

配布は、文京町キャンパスで17日まで行い、本町キャンパスでは18、19の両日に実施する。